



日本木材青壮年団体連合会 環境憲章

【理 念】

日本木材青壮年団体連合会(日本木青連)は、類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。

～私たちは、木材が人類共有の財産であることから、その持続的な利活用を目指す会員を“木財人”と称しています～

【基本方針】

1.〈木材利用の地球環境貢献〉

木材利用の促進を通じて、地球環境に貢献する事業を推進します。

- ①木材製品の炭素貯蔵による地球環境貢献効果を正しく理解し、高炭素ストック社会の形成を目指して、木材利用の促進に努めます。
- ②木材加工の省エネルギー性能を正しく理解し、低炭素排出社会の形成を目指して、更に環境負荷の小さい木材製品と、その生産、流通技術の開発に努めます。
- ③地球上の健全な炭素循環における森林の役割を理解し、木材の持続可能な利用によってその機能が最大限に発揮される観点から、森林による炭素吸収源の拡大に貢献します。

2.〈事業活動〉

事業活動全般において、環境法令の遵守と一層の環境負荷の低減に努めるとともに、日本木青連会員全体の環境管理レベルの向上を図ります。

- ①有毒物質の適正管理、3Rの推進(リデュース、リユース、リサイクル)による省資源を推進します。
- ②会員への環境教育を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。
- ③ビジネスパートナーと協働して、木育活動などの環境保全活動を推進します。
- ④合法木材の利用を推進します。

3.〈社会活動〉

森林資源の有効な循環利用を通じて地球環境保全を推進します。

- ①木材の利用促進を通じて、循環型経済社会の形成に努めるとともに、持続可能な企業価値向上と会員の社会貢献への意識を高めます。
- ②行政機関、地域、関係団体と連携して、環境保全活動に積極的に参加、支援します。
- ③社会と協調して豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。

4.〈情報発信〉

正確な環境情報を開示するとともに、フィードバック情報を環境活動の改善に活かします。

- ①環境情報を積極的に公開し、社会との環境コミュニケーションを推進します。
- ②木材製品における温室効果ガス排出量等の「見える化」に努めます。
- ③環境行動計画を公表し、計画的かつ継続的な環境活動を推進します。

制定 2010年 6月19日

日本木材青壮年団体連合会
平成21年度会長

久我 洋一



平成24年度

木青連だより

長野県木材青壮年団体連合会



平成24年度

木青連だより

目次

ごあいさつ	長野県木青連 会長 島田 直政	1
平成24年度事業概要		2
平成24年度会議・事業経過報告		4
平成24年度組織図		5
平成24年度出向者		5
第35回長野県児童・生徒木工工作コンクール実施報告		6
第35回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト		8
住まいと省エネフェア2012[木工教室]事業報告		13
信州環境フェア2012[木工教室]事業報告		13
会団事業報告	北信木青連	14
	東信木青連	15
	松本材青会	16

ごあいさつ



長野県木材青壮年団体連合会
平成24年度会長 島田 直政

まず初めに、一年間長野県木青連を支えて頂いた方々に心より感謝申し上げます。

このような大役を一年間無事乗り越えられたのも、当会が無事一年を終えられたのも、支えて頂いた執行部をはじめ理事、会員の皆様並びに関係各位の皆様の協力のお陰だと思っております。本当にありがとうございました。

平成24年度の実績としまして、何点かご報告させていただきます。

国土交通大臣への陳情

- 公共建築物等の木造化、内装木質化の促進、また道路・河川・公園等公共工事や鉄道の駅舎等における地域材利用の推進
- 長期優良住宅や住宅リフォーム等の住宅建設促進のための補助事業の拡充

以上の2点を、国土交通大臣を直接訪問し、執行部全員でお願いに行ってきました。

快くお聞きいただき、ご支援いただけるとのことです。今後に期待します。

木工工作コンクール作品数の増加

毎年当会で行っている大きな活動のひとつでもあるコンクールも35回目を迎えました。毎年素晴らしい作品を県下各地から出品していただき、私も楽しみにしています。そのコンクールも広報活動のお陰もあり今年作品数が増え、日本のコンクールの中でも1点入賞しました。

木青連セミナーの開催

今年度は、理事会開催後、会員同士の情報交換や各企業の発展を目的に毎回セミナーを開催し、勉強に励みました。

文化学園大学との交流

日本木青連からの紹介で、文化学園大学建築デザイン研究室の学生さん達の古民家再生プロジェクトのお手伝いをさせていただきました。須坂市にある古民家を地元産材を利用し、再生させるプロジェクトです。長期に渡る事業ですので、来年度もよろしく願います。

当会の財務体質の健全化

会員数減少の中での事業継続・拡大が必要となってきています。今年度は担当副会長さん達には、予算面から無理を言ってしまうりましたが、大変御苦労頂きありがとうございました。お陰さまで、財務面での改善も行う事ができました。今後、当会を永続的に引き継いで行くためにも、財務面を筋肉質にしていく必要があると感じました。来年度も引き続き支援していきつもりです。

私が掲げたスローガン「自らを磨き、行動しよう、木材界の発展のために」をモットーに一年間、突っ走ってきました。まだまだやり残した事はありますが、精一杯運営させて頂きました。歴史ある当会の会長に就任させて頂き、改めて感謝申し上げますと共に、これからは当会が永続的に発展しますよう、これからも全力で御支援させていただきます。温故知新の心で、若い英知と情熱を結集し不屈の精神をもって行動しよう、木材界の発展のために！！

平成24年度事業概要

長野県木材青壮年団体連合会
平成24年度会長 島田 直政

会長指針

何のために木青連をやるのか？

会員誰しもが、一度は考えたフレーズではないでしょうか。

今年、53周年を迎える長野県木青連は、会員数が40名で新たなスタートを切りました。この会員数は、15年前の約3分の1です。少数精鋭とはなりましたが、業界としては、追い風の予感がしております。住宅着工数こそ年々減少してはいるものの、資源、エネルギー問題を背景に、森林資源の活用や木材利用の見直しが行われています。長野県では、木材の利用促進による、木を活かした力強い産業づくりを推進していますし、国から各地方行政、至る所で公共建築物に於ける木材の利用促進が行われようとしています。更には、川下の一般消費者達も、エコの観点からできるだけ気を使いたいという気持ちが目覚めています。

木青連は、先人が「業界振興の担い手育成」として創立した団体です。

このような時代のニーズを的確に察知し、応えられるのは我々木青連しかありません。今改めて、我々会員一人一人が、木青連の一員としての存在意義を再確認し、木青連という場で自ら学び、行動し、自らを磨くことこそが、各々の企業を繁栄させることに繋がり、さらには木青連、業界、地域の発展へと結びついていくと確信しています。

先輩方の築き上げてきたこの木青連の会長に就任することを心から感謝し、与えてくださった使命を通して多くの知識と経験が私を大きくしていただけるように、自らもがんばると共に、会員の皆さんの熱き心を私に託していただければありがたいと思います。

歴史を作るのは我々です。未来の木青連、業界のために、ともにがんばりましょう。

スローガン

「自らを磨き、行動しよう、木材界の発展のために」

基本方針

- 1.自らを学び、自ら行動し、自らを磨き、社業発展に貢献しよう
- 2.仲間と情報を共有し、大いに議論し、木青連を活用しよう

事業計画

【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議

- (1) 定時総会
- (2) 理事会
- (3) 県、中部森林管理局、関係団体との懇談会

【2】長野県木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業

- (1) 第53回県会員中信大会
- (2) 第35回長野県児童・生徒木工工作コンクール
- (3) PRカレンダーの斡旋
- (4) 木のHPR事業
- (5) 会員拡大
- (6) 木青連だよりの発行
- (7) 今後の木青連の在り方研究

【3】各単位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業

- (1) 木材PR事業

【4】日本木青連が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 第57回全国会員埼玉大会
- (2) 第37回全国児童・生徒木工工作コンクール
- (3) 第16回日本木青連木材活用コンクール
- (4) ウッディレターの発行
- (5) 総会、理事会、委員会

【5】地区協議会が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 北信越地区会員大会
- (2) 北信越地区協議会

【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業

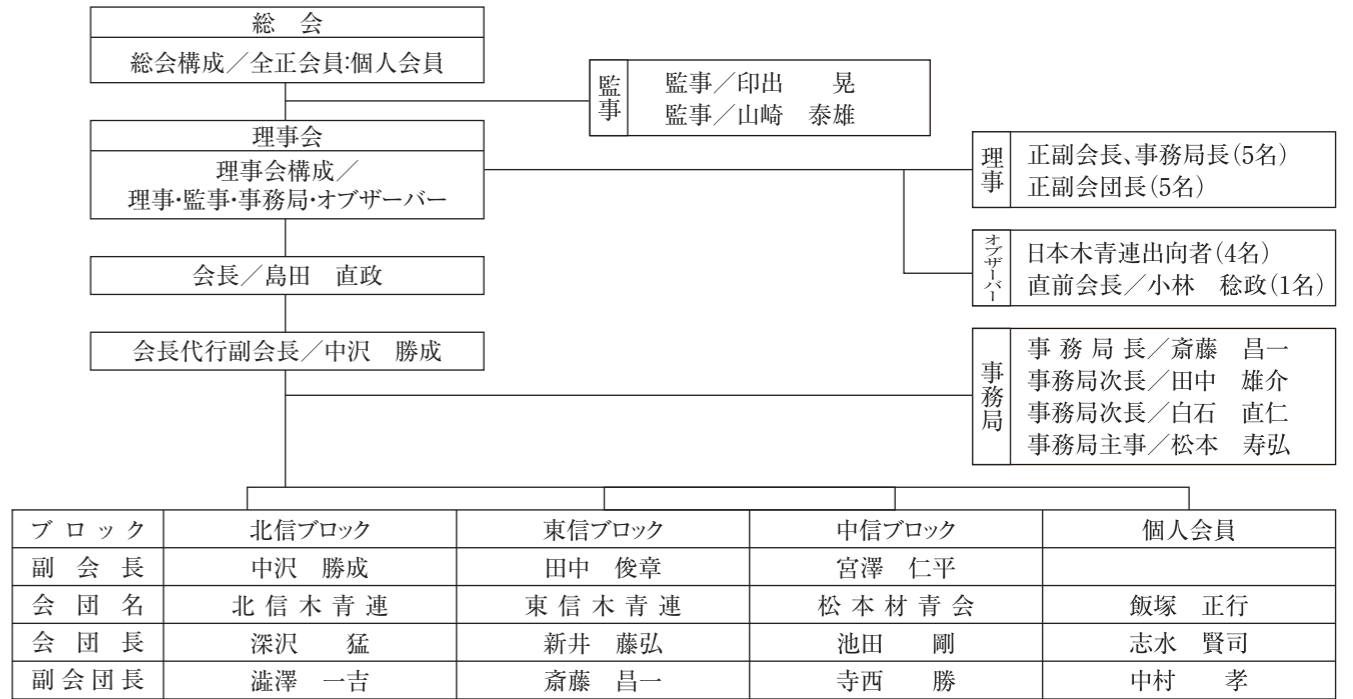
- (1) 長野県県産材振興対策協議会が主催する事業
- (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
- (3) 長野県木材振興基金が主催する事業
- (4) (財)長野県建築住宅センターが主催する事業
- (5) 県、中部森林管理局等が主催する事業

平成24年度 会議・事業経過報告

- 3月8日(木) 正副会長事務局引継会議
- 3月16日(金) 日本木青連 第1回理事予定者会議
- 3月24日(土) 長野県木青連 理事予定者会議
- 4月14日(土) 日本木青連第1回理事会
- 4月17日(火) 北信木青連総会
- 4月18日(水) 松本材青会総会
- 4月20日(金) 東信木青連総会
- 4月28日(土) 長野県木青連53回東信大会
- 5月19日(土) 長野県木青連 第1回理事会
- 5月25日(金) 日本木青連第2回理事会
- 6月25日(木) 長野県木材協同組合連合会 通常総会
- 6月7日(木) 長野県県産材振興対策協議会 通常総会
信州木材認証製品センター 通常総会
- 6月21日(木) 長野県木材産業振興基金 通常総会
- 6月30日(土) 長野県木青連 第2回理事会
- 7月2日(月) 文化女子大学 ワークショップ
- 7月3日(火) 文化女子大学 ワークショップ
- 7月7日(土) 日本木青連第3回理事会
- 7月14日(土) エコリフォームフェア2012
- 7月15日(日) エコリフォームフェア2012
- 8月19日(日) 国土交通大臣 就任祝賀会
- 8月25日(土) 信州環境フェア2012
- 8月26日(日) 信州環境フェア2012
- 9月1日(土) 日本木青連第4回理事会
- 9月21日(金) 第35回長野県児童生徒木工工作コンクール審査会
長野県木青連 第3回理事会
- 9月28日(金) 羽田国土交通大臣 面会
- 10月23日(火) 県木連、県森連、木青連合同セミナー
- 11月10日(土) 日本木青連 第5回理事会
林野庁情報交換会
- 12月1日(土) 長野県木青連 第4回理事会
- 12月8日(土) 日本木青連 第1回常任理事予定者会議
- 1月11日(金) 日本木青連 第2回常任理事予定者会議
- 1月12日(土) 日本木青連 第6回理事会
- 2月16日(土) 長野県木青連 第5回理事会

- 長野：林業センター
- 東京：森下文化センター
- 上田：香青軒
- 東京：森下文化センター
- 長野：ホテルメトロポリタン
- 松本：
- 上田：香青軒
- 上田：ささや
- 上田：上小木協
- 三重：三重県総合文化センター
- 長野：林業センター
- 長野：林業センター
- 長野：林業センター
- 長野：林業センター
- 上田：香青軒
- 須坂：篠原邸
- 須坂：篠原邸
- 岐阜：ホテルグランパール岐山
- 長野：ビッグハット
- 長野：ビッグハット
- 長野：ホテル国際21
- 長野：エムウェーブ
- 長野：エムウェーブ
- 北海道：旭川グランドホテル
- 松本：合同庁舎
- 松本：松筑会館
- 東京：国土交通省
- 長野：サンパルテ山王
- 岩手：盛岡
- 岩手：盛岡
- 上田：ささや
- 宮崎：都城
- 東京：新橋
- 東京：新橋
- 上田：香青軒

平成24年度 組織図



平成24年度 出向者

- 《1》日本木材青壮年団体連合会
 - 理事(会団長) 島田 直政 [東信木青連]
 - 理事(木材活用委員会副委員長) 小林 稔政 [松本材青会]
 - 理事(木工工作委員会委員長) 瀧沢 良夫 [北信木青連]
- 《2》日本木材青壮年団体連合会
北信越地区協議会
 - 県会団代表 島田 直政 [東信木青連]
 - 県会団代表 中沢 勝成 [北信木青連]
 - 県会団代表 斎藤 昌一 [東信木青連]
 - 県会団代表 田中 雄介 [東信木青連]
- 《3》長野県木材産業振興基金
 - 理事 島田 直政 [東信木青連]
 - 理事 中沢 勝成 [北信木青連]
 - 評議員 田中 俊章 [東信木青連]
 - 評議員 斎藤 昌一 [東信木青連]
- 《4》長野県県産材振興対策協議会
 - 理事 島田 直政 [東信木青連]
 - 幹事 斎藤 昌一 [東信木青連]
- 《5》(公財)長野県緑の基金
 - 評議員 島田 直政 [東信木青連]

一年を振り返って



平成24年度 長野県木材青壮年団体連合会
直前会長

小林 稔政

早いもので一年があっという間に過ぎ、長野県木青連24年度もまとめの時期になりました。今年度、長野県木青連は「自らを磨き、行動しよう、木材界の発展のために」のスローガンのとおり、島田会長が力強いリーダーシップを発揮され、多くの成果を上げることが出来ました。島田会長と理事会メンバーに敬意と感謝の気持ちを表すとともに、私自身が、直前会長としての職務、職責を全うすることが出来なかったことを皆さまにお詫び申し上げたいと思います。

特に思い出に残ることは現職の国土交通大臣に表敬訪問が出来たことです。縁を上手く利用してよい時期に大臣との面会がかないました。私が懇親会の席で話したことを、その行動力で実現してくれた島田会長に改めて感謝を申し上げたいと思います。

我々の先輩諸兄はこの木青連という組織を上手く使い、自分自身あるいは自社の発展に繋がられて来ました。それは、むしろ今、必要ではないか。島田会長の行動を拝見していて、そのことを痛切に感じました。いま問われているのはわれわれ自身の行動です。自分自身、自社を発展させ、結果として木材界を発展させていきたいと思います。

最後になりましたが、島田会長をはじめとする役員の皆様、出向していた皆様、各会団で活動してこられた皆様、一年間お疲れ様でした。

一年を振り返って



平成24年度 長野県木材青壮年団体連合会
会長代行副会長

中沢 勝成

本年度、島田会長の下、会長代行副会長として木青連活動に携わらせて頂きました。まず、本来ですと会長を代行・補佐すべき立場にも関わらず、島田会長の力になれなかった事を変え申し訳なく思い反省する次第です。

理事会では、議長を務めさせて頂きましたが、拙い進行で議事をうまく回す事が出来ませんでした。理事の皆様のご協力を頂き何とかこなすことができました事を感謝いたします。

また、当会唯一の収入事業である「PRカレンダー斡旋事業」を担当したわけですが、昨年内容変更した物をそのまま使わせて頂きました。売上増のPR活動等は特別に行いませんでしたが、会員皆様のご協力を頂き、部数については当初計画致しました部数をほぼ達成する事が出来ました。ご購入頂きました皆様本当にありがとうございました。

しかし、残るはずの数字が計画していた数字に届かなかった事が残念に思います。何れにしても、執行部・理事そして会員の皆様に支えられ何とか1年を終える事が出来ます事を感謝いたします。

来年度は、また違った立場で木青連活動に携わる事となりますが、まずは、本年度行われた事業規模を縮小することなく、実行して行く事を目標に掲げて行きたいと思いますので、会員の皆様には、本年度以上にご尽力・お力沿いを賜りますようお願い致します。

一年を振り返って



平成24年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

田中 俊章

今年1年間、島田会長のもと財務担当副会長を務めさせて頂きました。

本年度は、会員の減少等により減少した収入の中での会運営を行う必要があるため、例年よりもさらに支出を抑えた予算でのスタートでした。そんな会運営も1年間無事乗り切ることが出来ました。これは、島田会長を中心に執行部、理事会が一丸となりそれぞれの事案をこなせた事、そして何よりも会員の皆様のご協力があったのものと感謝をしております。ありがとうございました。

また、本年度は例年になく事業をいくつか行いましたの

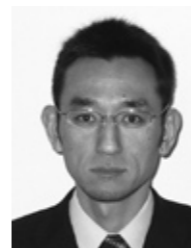
で、予定より多い事業収入を得ることが出来ました。しかし、現状は繰越金を少しずつ切り崩しての会運営に違いありません。このままでは、数年の内に繰越金が底をついてしまい、会の運営や存続自体も考えざるを得なくなる状況になってしまいます。

支出を節約する事も大事だと思いますが、やはり収入を増やすことが必要だと思いました。そのためには会員数の拡大や、新しい事業収入を検討していくことが必要であると思います。

国の木材利用に対する施策や、県産材の利用推進に関する施策等木材業界には追い風が吹いていると思います。このような流れを利用して、長野県木青連がまた全盛期の様な活気を取り戻せるよう、今こそ若い英知を結集して、頑張ってください。

1年間ありがとうございました。

一年を振り返って



平成24年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

宮澤 仁平

本年度は、島田会長の「自らを磨き、行動しよう、木材界の発展のために」のスローガンのもと、木工工作担当副会長として一年間活動させて頂きました。

主な活動内容は「長野県児童・木工工作コンクール」です。今回で第35回を数える本事業は、長野県全域の小中学校より141校、3772点もの作品のご応募をいただきました。本年度は、初の『児童木工工作コンクール』の募集広告を信濃毎日新聞に載せアピールしました。アピールをしたことにより昨年

を上回る学校数と作品をご応募いただき大変嬉しく思っております。毎年、色々な顔をみせてくれる生徒さん達の作品は、どれも創造性が溢れ木材を生業とする私達に新鮮さと驚き、そして感動を与えてくれます。全ての作品が素晴らしい。このように大勢の生徒さんが木に触れ合って頂き、本事業に応募していただいた事に、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。また、各地にて作品の集計・持ち込み作業など様々な面でご協力いただいた会員の皆様にご心より感謝いたします。

自然と触れ合う事が少なくなってきた昨今ではありますが、来年度も沢山の木と触れ合う場を提供して行くことが私達の使命であり引き続き本事業を通じて森林の大切さや木材の利用普及に尽くしていきたいと思っております。

一年を振り返って



平成24年度 日本木材青壮年団体連合会出向
木工工作副委員長

瀧沢 良夫

25年度も日本の出向に決まりました。大震災から2年目を向かえまして24年度の全国木工工作審査会も仙台にて25年3月3日(日)に無事終了しました。

今回の審査会は委員長が開催2日前に緊急入院という事態があり、急遽担当副会長と副委員長側での進行となりました。24年度の木工工作委員長も参加しており、昨年同様な運営進行により支障なく終了することができました。

昨年度の木工工作品で規定オーバーが数点ありましたが、本年度は規定どおりに納めて出品してきました。昨年と同じ学校でした。

毎年審査会場もその年度委員長担当地区で行われますが、これもさまざまな会場設営になり毎回同じ運営進行とはいき

ません。会場設営の一番大変な所の一つと言えます。審査員の先生方やスポンサーとして来ていただいている担当の方々も毎年恒例行事ですので審査会の要領も心得ておりまして、前年度に比べスムーズに審査会が終了しました。各メンバーの負担もかなり軽減されたのではないのでしょうか。今回の審査会は委員長不在で行いましたが、自分も含め毎年この木工工作委員会に携ってきたメンバーも多数おりましたので、支障なく進めることができました。

何年も携ってきたことが生かされたのではないかと感じました。

後に委員長から各地方メンバーに大変な御心ずかいをいただきました。

同じ木材人としての交流がここで生かされたと深く実感し、大変嬉しく思い強い絆を感じました。

そして本番は全国大会です。木工工作委員会もまだこれからですので、メンバーと共にがんばっていききたいと思います。

第35回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にすることがなければいずれ枯れ果ててしまいます。

そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主 催】 長野県木材青壮年団体連合会
【共 催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会
【後 援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対 象 者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】**
- (1) テーマ
自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
 - (2) 大きさ
タテ・ヨコ・高さ それぞれ75cm以内とする。
 - (3) 締切り
平成24年9月7日(金)
 - (4) 送り先
最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】	年月日	場 所	内 容
	平成24年 6月下旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付、各関係機関への依頼書送付
	7月～8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中)、各材料の提供配布は地元会員が手配
	9月 7日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
	9月 8日～14日	県下全域	各地区審査会を実施
	9月21日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
	9月24日～28日	松本市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
	12月 1日	上田市	上田市「ささや」にて表彰式
	12月10日～14日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1Fロビーにて展示
	平成25年 3月 3日	宮城県仙台市	全国児童生徒木工工作コンクール審査会に作品出展
	6月 1日(予定)	岩手県盛岡市	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審 査】 <基準>
 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
 また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なった。

- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
- ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
- ・機能、デザインが優秀であること。
- ・工作技術が優秀であること。

【審査会】 平成24年9月21日(金) 松本合同庁舎(404会議室)

【審査員】 審査委員長 長野県教育委員会 中信教育事務所 主任指導主事 北沢 芳洋 様
 審査委員 長野県林務部 信州の木振興課 県産材利用推進室 室 長 山崎 明 様
 中部森林管理局 中信森林管理署 次 長 岩本 道彦 様
 (公財)長野県緑の基金 書 記 笹原まゆみ 様
 長野県県産材振興対策協議会 理 事 酒井 孔三 様
 長野県木材協同組合連合会 理 事 長 細川 忠國 様
 長野県木材青壮年団体連合会 会 長 島田 直政 様
 直 前 会 長 小林 稔政 様
 代 行 副 会 長 中沢 勝成 様
 副 会 長 宮澤 仁平 様
 副 会 長 田中 俊章 様
 計11名



(左から)
 長野県木材協同組合連合会 細川理事長様
 中部森林管理局 中信森林管理署 岩本次長様
 長野県教育委員会事務局 中信教育事務所 北沢主任指導主事様
 長野県林務部 信州の木振興課 県産材利用推進室 山崎室長様
 長野県県産材振興対策協議会 酒井理事様
 (公財)長野県緑の基金 笹原書記様

【審査風景】



【展示風景】 平成24年 9月24日(月)～ 9月28日(金) 松本合同庁舎1階ロビー
 平成24年10月10日(水)～10月14日(日) 長野県庁1階ロビー



【表彰式】 平成24年12月1日(土) 上田市「ささや」



第35回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作品名	氏名	学校名	学年
ひまわりのかべかけ	鈴木 柊生	南木曾町立南木曾小学校	4年
ハヤブサ	深江 優輝	茅野市立金沢小学校	5年
夏の霧ヶ峰※1	河西 彩峰	原村立原中学校	3年
ROCKイングチェアー	中野 拓哉	長野県立諏訪養護学校	高等部3年

※1. 第37回全国児童・生徒木工工作コンクール 損保ジャパン賞 受賞

2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏名	学校名	学年
森のこん虫	金井 快翔	千曲市立埴生小学校	2年

3. 中部森林管理局 局長賞

作品名	氏名	学校名	学年
百年椅子	小林 久遠	松本市立清水中学校	2年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
巣を守る八子	山崎 佑弥	伊那市立伊那東小学校	6年

5. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
木のふね	牛尼 敏彰	茅野市立豊平小学校	2年

6. 長野県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
小物入れつき棚	北島 侑季	原村立原中学校	2年

7. 長野県木材青年団体連合会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
きりんの家族	武藤 まり	御代田町立御代田南小学校	4年

8. 優秀賞

作品名	氏名	学校名	学年
森のおんがくかい	関口 璃紗	長野市立通明小学校	1年
木で作ったカマキリ	柄澤 慎希	長野市立通明小学校	4年
りそうの家	山岸 勇星	長野市立通明小学校	4年
ライトアップしたスカイツリー	関森 雅人	長野市立通明小学校	5年
音楽会	藤原 優	長野市立山王小学校	5年
飛び立とうとするかぶと虫	浦野 友希	須坂市立旭ヶ丘小学校	5年
鷹揚丸(おうしょうまる)	小林 彬登	飯山市立飯山小学校	6年
回転寿司「隆」	柄沢 隆成	上田市立豊殿小学校	4年
カプトとカプトのたたかい	須澤 泰斗	上田市立丸子北小学校	4年
昔の虫かご	小野澤拓海	長和町立和田小学校	4年
オルゴール	瀬在 颯	上田市立神科小学校	6年
じょうききかん車	笹澤 欣樹	佐久市立望月小学校	2年
天空のレストラン	大屋ジェシカ	御代田町立御代田南小学校	5年
クワガタ虫	池田 勇貴	佐久市立野沢小学校	5年
五輪の入れ物	土屋 輝	佐久市立野沢小学校	6年
フラワーチェアー	小須田麻汐	佐久市立泉小学校	6年
ガタガタしないピットリ椅子	佐藤 玲	国立信州大学付属松本中学校	2年
森の王者たち	石田 七彩	松本市立旭町小学校	3年
草原の中を歩くキリン	吉田 颯真	松本市立旭町小学校	5年
木製スプーン	小平 温太	塩尻市立塩尻西小学校	6年
ぼくの大好きなこん虫	寺島 唯翔	池田町立池田小学校	6年
ギャラクシー	山本 篤也	大町市立大町西小学校	6年
カメの木ぼり	森元 蓮志	茅野市立米沢小学校	2年
イルカのたな	北島 瑞季	原村立原小学校	5年
木のイス	馬宮 誠洋	原村立原小学校	6年
ランプ	藤田 良真	茅野市立玉川小学校	6年
ツリーハウス	有賀 未知	伊那市立西箕輪小学校	1年
飛行機	矢崎 宏隆	伊那市立高遠小学校	5年
清流のイワナ	伊東 圭祐	伊那市立伊那小学校	6年
どうくつにいるきのりゅう	三沢 康	上松町立上松小学校	2年
りゅう	青木 亮磨	木祖村立木祖小学校	3年
動物たちの森	上田 紘栄	南木曾町立南木曾小学校	5年
森林鉄道	郷原 勝貴	南木曾町立南木曾小学校	6年

最優秀賞(長野県知事賞)

ひまわりのかべかけ

南木曾町立南木曾小学校4年 鈴木 柊生

ぼくは、3年生の時、学校でヒマワリを育てました。育てたヒマワリが大きな花を咲かせ、とてもキレイだったので4年生の夏休みには木工工作で作ってみたいと思いました。

一番大変だったのは、種の部分を何で作るかという事でした。ぼくは、使ったすぐに捨てる割箸に目を付けました。その割箸を中央から外に向けて長さを変えて切る作業がとても大変でした。

そして、花びらの所は、松の削った物を使って、できるだけ立体感に見えるように貼ってみました。

ぼくは、完成したヒマワリを見て、夏に咲いたヒマワリのように出来たと思いました。

今回、長野県知事賞を頂き、一生懸命に作って本当に良かったと思います。



最優秀賞(県知事賞)

ハヤブサ

茅野市立金沢小学校5年 深江 優輝

僕は、工作を何にしようか迷って、パソコンを開いて探しました。すると、偶然ハヤブサを見つけ、カッコいいと思ったので作る事にしました。お母さんの実家にフクロウの置物があり、それを見て、ハヤブサにしたらかッコイイだろうと思い、木の皮で作りました。

難しく大変だったのは、胴体を針金で丸く作り、その上から木の皮を何枚も付ける事でした。その時、グルーガンでヤケドして痛かったです。全体を円柱形のような形にし表面をガタガタにならないように、平にするのも大変でした。

自分の中で良かったと思う所は、ハヤブサの目です。ちょうど作る日の広告にフクロウが載っていて目の部分を切り取って貼りました。ハヤブサが生きているように作れたのでごく

嬉しかったです。



□第35回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

総参加人数		3,769名
参加学校数	小学校	137校
	中学校	3校
	盲・ろう・養護学校	1校
	合計	141校

審査会出品数		116点
入選(入賞リスト1~7)		10点
優秀賞		33点
佳作		578点
努力賞		3,151点
総作品数		3,772点

最優秀賞(長野県知事賞)、第37回全国児童・生徒木工工作コンクール 損保ジャパン賞

夏の霧ヶ峰

原村立原中学校3年 河西 彩峰

私は、中学1年生の時から木工コンクールに作品を出品しています。1年目は、ポスト。2年目は、椅子。そして今回は村の雑貨店で見て、いいなと思った木画を作ろうと思いました。

夏休みの作品なので『夏』をテーマに、その季節が美しい霧ヶ峰の風景を描きました。

自分の好きなツリガネニンジンと霧ヶ峰を代表するニッコウキスゲをメインに夏らしく入道雲や山、湿原等を表現しました。

この作品は、薄い木を絵の下書き通りに切り、色を塗って、貼り合せた物です。この中で特に大変だったのは色付けです。本物に近くなるように6色の絵具を何度も混ぜ合わせて気に入った色を出す事が出来ました。

今年でコンクールに出せるのは、最後だったので満足のいく結果が出て良かったです。

ありがとうございました。



最優秀賞(県知事賞)

ROCKイングチェアー

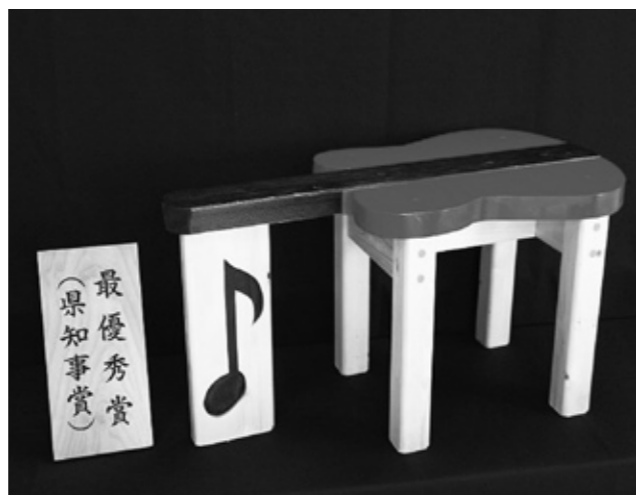
長野県立諏訪養護学校 高等部3年 中野 拓哉

「ギター型の椅子を作りたい」そう思ったのは今年、高校3年生になってからです。

私の学校には作業学習という授業があります。作業の時間は金曜日以外毎日あり、丹精込めて木工製品を作っています。

私が、なぜギター型の椅子を作りたいと思ったのかというと、音楽が大好きで軽音楽部に入っているからです。大好きなエレキギターを練習している中で「こんな椅子が作れたら」と考えるようになり、作業の時間に先生に相談しました。ギター型の椅子を作る上で形だけでなく、色もギターの感じを出したかったので苦労しながら色を塗りました。実際作ってみると、音符の切り出しや滑らかな曲線などが難しく、失敗もしました。それでも諦めず、先生と相談しながら時間もかけて作り上げたのが今回の椅子です。

完成して良かったです。是非見て下さい。



長野県教育委員会賞

森のこん虫

千曲市立埴生小学校2年 金井 快翔

僕は、今年の夏休みの木工工作で大好きな昆虫を作ろうと思いました。材料は、家の庭の桜の木と松の木と神社のケヤキの枝とキャンプ場で拾った白樺の枝を使いました。

最初は、桜の木でカブト虫とクワガタ虫を作りました。ノコギリで枝を切ってナイフで削ってヤスリをかけました。キリで穴をあけてケヤキの足を付けました。彫刻刀で模様を彫りました。蝶の白い羽は、松の木を薄く切って森にいる昆虫みたいにしました。白樺で額をのせる台を作って完成しました。

感想は、難しかったけれど道具をいっぱい使って色も塗ってキレイにできました。

大好きな昆虫を作って楽しかったです。



中部森林管理局長賞

百年椅子

松本市立清水中学校2年 小林 久遠

今回、私が作った百年椅子が木工工作コンクールにて中部森林管理局長賞を頂く事になり誠に嬉しく思います。

百年椅子は、釘などの金属を一切使わず、木組みの技法を使った木製の椅子です。木組みの利点は、すべての接合部分が木でできているため壊れた場合、その部分のみを組みかえ、新しくすることができます。この工法は奈良の法隆寺にも使われており、何百年も建ち続けています。それを知った時、まだ椅子を作っていた私は、木組みを考案した大昔の大工の熱意と工夫を感じ目標を持って百年椅子を作る事を決意しました。

滑らかで、何より座りやすい椅子を目標にし、丁寧に磨きました。その結果この賞を頂く事になりました。

これからも熱意を忘れることなく感心を深めていきます。



公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

巣を守るハチ

伊那市立伊那東小学校6年 山崎 佑弥

今年の夏休みは、友達と市営プールに何度も行きました。周りには森があって、松ボックリと小さな栗のイガが沢山落ちているのを見つけこれを夏休みの工作に使おうと思い持ち帰りました。

どのように使うか色々と考えている時、庭に蜂の巣を見つけ「これだ。」と今回の作品を思いつきました。

蜂について図鑑やインターネットで色々調べて蜂の巣に出来るだけ近づける様に巣には、松ボックリをバラバラにして一枚ずつ貼り付けたり、蜂には硬い木材を彫刻刀で時間をかけて削り、苦労して作りました。蜂の幼虫を紙粘土で作りました。

小学校最後の良い思い出が出来たと思います。



木のふね

茅野市立豊平小学校2年 牛尼 敏彰



小物入れつき棚

原村立原中学校2年 北島 侑季

4年前、(小5)の時に「イルカのミニテーブル」を、その翌年には(小6)「物が入る椅子」など日常生活で使えるような物を作ってきた中で、今回は造形作品にしようと思いましたが、「作るなら一生使えるような物がいい。」という気持ちと、「木工作品は実用品にかぎる。」という自分の思い込みと、「本棚が欲しい。」という気持ちから一年振りに木工工作を作り、コンクールに出しました。

棚を作るということで、どんな形にしようか考えました。家族にもアイデアを出してもらい、このような形になりました。

仕上げは、色を付けてみたかったので、バーナーで星の模様だけ残してあぶりました。

意外と難しくムラができたけど楽しかったです。

来年も何かアイデアが浮かぶといいです。



きりんの家族

御代田町立御代田南小学校4年 武藤 まり

キリンは、家で余った板でキリンになりそうな材料を選んで作りました。1つでは、さみしいので家族にしました。

キリンは、首が短いと馬みたいになってしまいます。私は、お父さんが材料にするしをした所をノコギリで切ったり、ドリルでネジを止めたりしました。その後、お父さんが途中まで色塗りをしたのをお手本に家族みんなで模様を塗りました。

キリンの模様は、本屋さんに行ってキリンの色を調べて模様に合わせて色で、下地が透けない様にアクリルガッシュを使いました。

去年は、「鳥」の作品で県知事賞と、全国造形教育連盟委員長賞を頂きましたが、今年も木青連会長賞を頂けることになりとても嬉しいです。

来年も入賞出来るような作品を作りたいです。



住まいと省エネフェア2012[木工教室]事業報告

事業報告書

【事業名称】 住まいと省エネフェア2012 木工教室(大人の文化祭)【実施場所】 エムウェーブ(長野市)

【実施日時】 平成24年7月14日(土)~15日(日) 10:00~17:00

【対象者】 住まいと省エネフェア及び大人の文化祭 来場者

【担当】 宮澤 仁平

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使い方などを知っていただく。

【事業内容】 住まいと省エネフェア実行委員会が主催する「住まいと省エネフェア2012」で木工教室・木育教室を開催。

木工体験コーナー広さ 6m×4m

【当日風景】

ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 160セット

体験料/1人500円

＜1回毎の講座内容＞※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

①森林の話(2分)県より ②イスの作り方(3分)木青連 ③イス作り開始(55分)

＜準備品＞

イスキット(グリーン材)160セット/木工工作道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/

コンパネ10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】 7月13日(金) 16:00~17:00 材料搬入
7月14日(土) 10:00~17:00 (9:30集合)
7月15日(日) 10:00~17:00 (9:30集合)
17:00~ 片づけ、搬出

＜木工教室開催時間＞

1回目 10:20~11:20 [12組]
2回目 11:30~12:30 [12組]
3回目 13:20~14:20 [12組]
4回目 14:30~15:30 [12組]
5回目 15:40~16:40 [12組]



信州環境フェア2012[木工教室]事業報告

事業報告書

【事業名称】 信州環境フェア2012 木工教室

【実施場所】 長野市 ビッグハット

【実施日時】 平成24年8月25日(土)~26日(日) 10:00~17:00 ※最終日16:00まで

(若里多目的スポーツアリーナ)

【担当】 宮澤 仁平

【対象者】 一般(信州環境フェア 来場者)

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりや桧マイ箸づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使い方などを知っていただく。

【事業内容】 信州環境フェア実行委員会、長野県地球温暖化防止活動推進センターが主催する

【当日風景】

「信州環境フェア2012」で木工教室・木育教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 160セット(予備10セット)

ヒノキ マイ箸づくり 2日間 100セット

＜1回毎の講座内容＞※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

①森林の話(2分)県より ②イスの作り方(3分)木青連 ③イス作り開始(55分)

＜準備品＞

イスキット160セット/マイ箸材料 100膳/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/

コンパネ10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】 8月24日(金) 16:00~17:00 材料搬入
8月25日(土) 10:00~17:00 (9:30集合)
8月26日(日) 10:00~16:00 (9:30集合)
16:00~ 片づけ、搬出

＜木工教室開催時間＞

1回目 10:20~11:20 [12組]
2回目 11:30~12:30 [12組]
3回目 13:00~14:00 [12組]
4回目 14:10~15:10 [12組]
5回目 15:20~16:20 [12組]
※最終日16:00



北信木青連 平成24年度PR事業 事業報告

①事業名

中野市高丘児童木工教室

②日 時

平成24年8月1日(木) 午前9時～午後4時

③場 所

草間転作促進センター高丘地区育成会館

④参加者数(来場者数)

60名

⑤内容・題材

夏休み教育の一環として学童たちとともに木製椅子作成を行った。
30名一組を2セット、午前と午後に分けて行った。



①事業名

城東小学校親子木工教室

②日 時

平成24年10月27日(日) 午前9時～12時

③場 所

長野市立城東小学校

④参加者数(来場者数)

40組(60名)

⑤内容・題材

城東小学校文化祭に合わせて、そのイベントのひとつとして親子工教室を開かせていただいた。
親子による共同作業をサポートしながら40脚の椅子を作成・配布した。



①事業名

ながの東急親子木工教室

②日 時

平成24年11月11日(月) 午前9時～午後4時

③場 所

ながの東急前広場

④参加者数(来場者数)

40組(70名)

⑤内容・題材

ながの東急前広場にて、親子木工教室を開催した。
長野県の木のアピールをしながら椅子40脚を作成。
非常に広範な年齢層に参加していただいた。



東信木青連 平成24年度PR事業 事業報告

①事業名

佐久バルーンフェスティバル2012[木工教室]

②日 時

平成24年5月3日(木)～5日(土) 9:00～17:00

③場 所

佐久市 千曲川スポーツ交流広場

④参加者数(来場者数)

290人(27万人)

⑤内容・題材

木工教室を開催。
・小椅子づくり(イスキット)3日間 290セット
※木青連は、参加者のイスづくりをサポート



①事業名

森の学校

②日 時

平成24年9月29日(土)

③場 所

上田市別所公園

④参加者数(来場者数)

80名

⑤内容・題材

小椅子作り・箸づくり



①事業名

上小地区木工工作コンクール表彰式

②日 時

平成24年11月17日(土)

③場 所

上小木協会館

④参加者数(来場者数)

48名

⑤内容・題材

上小地区での児童生徒木工工作コンクール
表彰式



松本材青会 平成24年度PR事業 事業報告

- ①事業名
親子木工教室(2012まつもと広域ものづくりフェア)
- ②日時
平成24年7月14日(土)～15日(日) 10:00～17:00 最終日16:00まで
- ③場所
松本市 松本大学
- ④参加者数(来場者数)
約100人×2日間
- ⑤内容・題材
椅子づくり体験 2日間で100セット
県産材による椅子作り
※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



- ①事業名
信州そば祭り 看板設置
- ②日時
平成24年9月8日(土) 9:00～12:00
- ③場所
松本市 千歳橋
- ④参加者数(来場者数)
12人
- ⑤内容・題材
PR看板設置
信州そば祭り一ヶ月前に、千歳橋にPRのため看板設置。



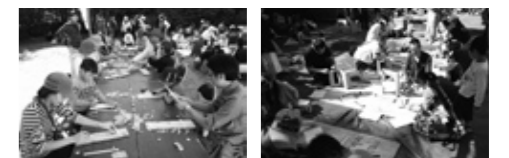
- ①事業名
親子木工教室(第47回松本農林業祭り)
- ②日時
平成24年9月8日(土) 9:00～16:00
- ③場所
松本市 あがたの森公園
- ④参加者数(来場者数)
約100人
- ⑤内容・題材
椅子づくり体験50セット
県産材による椅子作り
※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



- ①事業名
あがたの森公園内
木製テーブルベンチ設置・寄贈
- ②日時
平成24年9月22日(土)
- ③場所
松本市 あがたの森公園
- ④参加者数(来場者数)
10人
- ⑤内容・題材
あがたの森公園内木製テーブル
ベンチ設置・寄贈
約20年位前に松本市あがたの森
に寄贈したテーブルベンチが、かな
り劣化していたので、新たに作り直
して、設置し寄贈しました。



- ①事業名
木工教室(モクフェス2012)
- ②日時
平成24年10月8日(月)
- ③場所
松本市 アルプス公園
- ④参加者数(来場者数)
約300人
- ⑤内容・題材
県産材によるマイ箸作り100セット
県産材による椅子作り50セット
※会団員は、参加者の作り方説明
とサポート
ミニチュアハウス上棟式
※会団員は、参加者の建て方説
明とサポート
拍子木演奏会
(拍子木提供50セット)



- ①事業名
木工教室
(波田商工会木工教室)
- ②日時
平成24年10月27日(土)
- ③場所
松本市 波田旧役場
- ④参加者数(来場者数)
100人
- ⑤内容・題材
県産材による椅子作り50セット
※会団員は、参加者の作り方説明
とサポート
ミニチュアハウス上棟式
※会団員は、参加者の建て方説
明サポート



- ①事業名
親子木工教室
(技能五輪ふれあいフェスタ)
- ②日時
平成24年10月27日(土)～28日(日)
9:00～17:00 最終日16:00まで
- ③場所
松本市 やまびこドーム
- ④参加者数(来場者数)
約200人×2日間
- ⑤内容・題材
椅子づくり体験2日間で200セット
県産材による椅子作り
※会団員は、参加者への作り方
説明とサポート
ミニチュアハウス上棟式
※会団員は、参加者の建て方
説明とサポート



長野県木青連 平成24年度 理事予定者会議 議事録

日時／平成24年3月24日(土)

場所／香青軒

出席者14名(理事9名)委任状1名

◎会長	島田 直政
直前会長	小林 稔政
監事	印出 晃
監事	山崎 泰雄
◎会長代行副会長	中沢 勝成
◎副会長	田中 俊章
◎副会長	宮澤 仁平
◎北信木青連 会団長	深沢 猛
◎東信木青連 会団長	新井 藤弘
◎松本材青会 会団長	池田 剛
◎松本材青会 副会団長	寺西 勝
◎事務局長／東信木青連副会団長	齊藤 昌一
事務局次長	田中 雄介
木工工作委員会副委員長	瀧沢 良夫
木材活用委員会副委員長	新井 藤弘
共立プランニング	日野原和仁
司会進行	田中 俊章
議長	中沢 勝成

(◎は理事を示す)

連絡事項

齊藤事務局長予定者 物故者の確認をお願いする。

議事録作成指名 齊藤昌一

定足数確認

理事10名中 出席9名 委任状1名 成立いたします。

【1号議案】平成24年度 事業計画(案)承認の件

島田会長予定者:上程

平成24年度会長指針 事業計画を説明される。

新井会団長予定者:出向者に木工活用委員会副委員長 新井藤弘を追加すること。
追加訂正する。

小林直前会長予定者:理事数を事務局長と東信木青連副会団長が重複しており、1名として数えることと説明される。

全員の挙手をもって承認される。

【2号議案】平成24年度 事業予算(案)承認の件

島田会長予定者:上程

平成24年度事業予算を説明される。

深沢会団長:会員手帳は希望者が個人負担としても欲しい。

池田会団長:個人負担ならいくらかくらいになるのか金額を教えてください。個人会員も配布すべきではないか。

田中副会長予定者:紛失した時に、悪用されないためにもPDF化した方が良いのではないかと。

日野原さん:緊急連絡先として作られたものであり、自宅情報など削除できるものがあればそれでもよいのではないかと。

島田会長予定者:会員手帳のPDF化及び予算UPについて審議をお願いする。

小林直前会長予定者:各会団に連絡してはどうか。

定時総会前の臨時理事会に採決を見送りする。

【3号議案】第53回県会員中信大会開催(案)承認の件

島田会長予定者:上程

4月28日ささやで開催されることを説明される。

全員の挙手をもって承認される。

【4号議案】第1回定例理事会開催(案)承認の件

島田会長予定者:上程

5月19日上小木協会館で開催されることを説明される。

全員の挙手をもって承認される。

議事録作成人 事務局長予定者 齊藤昌一

長野県木青連 平成24年度 第1回理事会 議事録

日時／平成24年5月19日(土)

場所／上小木材協同組合

出席者14名(理事9名)

◎会長	島田 直政
直前会長	小林 稔政
監事	印出 晃
◎会長代行副会長	中沢 勝成
◎副会長	田中 俊章
◎副会長	宮澤 仁平
◎北信木青連 会団長	深沢 猛
◎東信木青連 会団長	新井 藤弘
◎松本材青会 会団長	池田 剛
◎松本材青会 副会団長	寺西 勝
◎事務局長／東信木青連副会団長	齊藤 昌一
事務局次長	白石 直仁
木工工作委員会副委員長	瀧沢 良夫
共立プランニング	日野原和仁
司会進行	田中 俊章
議長	中沢 勝成

(◎は理事を示す)

資料確認字句訂正

連絡事項会員割会費・PR 会費についてのお願い資料差し替え
第4号議案第35回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業計画(案)資料差し替え

議事録作成指名 齊藤昌一

定足数確認 理事10名中 出席9名 成立致します。

【1号議案】平成24年度理事予定者会議及び定時総会議事録(案)承認の件

島田会長:上程

平成24年度理事予定者会議及び定時総会議事録を説明される。

池田会団長:資料のメールが届いていないので資料がほしい。

新井会団長:メール配信について確認できる対策をしてほしい。

齊藤事務局長:メールリングリスト等を活用し、対策をします。

日野原さん:個人会員には松本主事から送られているが、10部くらいは欲しいと連絡があった。

島田会長:各会団で手帳がほしい方は数を確認してください。

全員の挙手にて承認される。

【2号議案】平成24年度予算修正(案)承認の件

島田会長:再度変更された箇所を説明される。

全員の挙手にて承認される。

【3号議案】平成24年度PR カレンダー斡旋事業(案)承認の件

中澤代行副会長:議案について説明される。

昨年以上のカレンダーの斡旋をお願いします。

新井会団長:去年との差はあるのですか?

中澤代行副会長:カタログは去年のを使用しますが、それ以前のものも用意します。

島田会長:去年はPR活動をなかなか出来なかったので、PRカレンダーを売った方には何か賞をあげやるきUPをはかりたい。

中澤代行:積極的に会員にも協力していただきカレンダーの斡旋をしていただきたい。

深沢会団長:2年前は全会社に斡旋してもらったが、去年は出来ずガクンと落ちてしまった。今年は出来るだけ頑張りたい。

池田会団長:5月末頃にはカタログは来るのですか?

日野原さん:5月末頃に各会団長に配布します。

全員の挙手にて承認される。

【4号議案】平成24年度第35回児童生徒木工工作コンクール開催(案)承認の件

宮澤副会長:議案について説明される。

課題点

県での地区審査がポスターに書かれていることと違った審査をしている。県の審査が担当者1人で審査をしているのは公平ではない。

小林直前:木青連の会団がない所から苦情がきた。(木協の事務局が対応)

宮澤副会長:日本からポスターは来ないがデーターはもらえるので県でポスターを作り配布してほしいと連絡があった。

日野原さん:長野県の趣意書は作らせてもらっているがポスターも作るのか?データーが貰えるのであればポスターを作ることは可能です。

また、各学校で貼られているポスターは1枚きりで意味があるのかどうか?必要が無いのではないかと?

宮澤副会長:試験的にポスター無しでやってみてはどうか?

田中副会長:A4サイズのポスターで各クラスごと配布したらどうか?

日野原さん:予算が上がりすぎます。

小林直前:趣意書をメインにし先生に送ったほうが良いのではないかと?

島田会長:スポンサーを作ったらどうか?

宮澤副会長:予算が毎年赤字決算なのでスポンサーは必要になるのではないかと?皆さんにも議論してもらいたい。

田中副会長:趣意書が大人向けで、子供にはわかりにくい(作品の大きさなど)絵にしたりと分かりやすいものが良いのではないかと?材料をホームセンターではなく、材木屋を宣伝し「材木屋でも買えるんだ!」という旨を趣意書に載せて頂きたい。

深沢会団長:木工教室を宣伝に使えるのではないかと?

小林直前:元々木育がメインなのか、PRがメインなのか、それとも両方なのか、各会社をスポンサーになってもらえるととなると、補助金自体がなくなる事を念頭に入れて欲しい。

新井会団長:会社名を入れても各学校に1枚だけしか配布しないのでは意味が無いのではないかと?

小林直前:別紙にPR書を作りコピーして生徒に配布したらどうか?

日野原さん:出品表の裏に会社名(木青連協力会社)をうたう

全員の挙手にて承認される。

【5号議案】エコリフォームフェア2012木工教室開催(案)承認の件

宮澤副会長:議案について説明される。

宮澤副会長:材料を唐松会の田中さんから安価で買えそうなので、カビ等の有無をし使用したい。

深沢会団長:開催地が地元会団なのでだいぶこなれてきたので、今年も協力していきたい。

日野原さん:材料の配達はできますか?

田中副会長:材料を買っていただく以上配達します。

全員の挙手にて承認される。

【6号議案】第2回定例理事会開催日(案)承認の件

島田会長:議案について説明される。

セミナーを17:05～18:00まで行いたいと思います。

全員の挙手にて承認される。

議事録作成人 事務局長予定者 齊藤昌一

長野県木青連 平成24年度 第2回理事会 議事録

日時／平成24年6月30日(土)

場所／香青軒

出席者14名(理事9名)

◎会長	島田 直政
直前会長	小林 稔政
監事	印出 晃
◎会長代行副会長	中沢 勝成
◎副会長	田中 俊章
◎副会長	宮澤 仁平
◎北信木青連 会団長	深沢 猛
◎東信木青連 会団長	新井 藤弘
◎松本材青会 会団長	池田 剛
◎松本材青会 副会団長	寺西 勝
◎事務局長／東信木青連副会団長	斉藤 昌一
事務局次長	白石 直仁
事務局主事	松本 寿弘
木工工作委員会副委員長	瀧沢 良夫
共立プランニング	日野原和仁
司会進行	田中 俊章
議長	中沢 勝成

(◎は理事を示す)

こう次第ですが窓口は広く取っておくべきです。

松本主事:県庁の展示は記事にしてくれたりする場合もあります。

宮澤副会長:県知事が来ることは可能ですか？

小林直前会長:去年は長野県のイベントがあったので県知事が来てくれた、県のイベントをチェックしてそこに抱き合わせて可能かどうかを確認したほうがよいのでは無いか？

全員の挙手にて承認される。

【3号議案】信州環境フェア2012木工教室】事業計画(案)承認の件

宮澤副会長:議案について説明される。

材料は田中副会長

箸材は中沢代行副会長にお願いする。人数は別紙で確認

宮澤副会長:8月24日前日準備は北信木青連深沢会団長お願いします。また、まゆ玉をやめて箸作りを増やす案があるので皆さんに協議をお願いします。

深沢会団長:いままでの(まゆ玉が出た)データはいくつですか？

松本主事:100セット全て出ています。椅子づくりの待ち時間を使ってやっています。

深沢会団長:まゆ玉づくりをやめる理由は何ですか？

宮澤副会長:予算を作るにあたり高いという意見があったためです。松本主事:(予算を)材料等に振り分けてあげたい、補助金を貰っているので木材の箸や椅子づくりに振り分けたい。

新井会団長:まゆ玉をやめなくてもよいのではないかと？

池田会団長:材青会にも(箸づくりの)道具はあるので箸づくりを増やしてもいいが、まゆ玉も人気があるのでやめる必要は無いのではないかと？

寺西副会団長:まゆ玉は女性に人気があるのでやめる必要はないのかなと思います。

新井会団長:会場はもう決まっているのですかと？

松本主事:まだ本決まりでは無いのですが、今年も昨年と一緒だと思います。音が出るので会議室でやらせてくれとお願いしたことがあります。

宮澤副会長:まゆ玉をやるかは全体の予算の中で調整をして進めます。

全員の挙手にて承認される。

【4号議案】第1回定例理事会開催(案)承認の件

島田会長:議案について説明される。

スケジュールについて字句訂正される。

セミナーについて城戸さんが移動につき開催が難しくなりました松本主事:県木連でのセミナーを木青連と合同でセミナーを開きたい、新しい局長とのセミナーを8月から9月頃に行いたいと思います。島田会長:次回理事会は木工工作コンクール審査会もあります。忙しいケジュールですので気を付けて下さい。

全員の挙手に手承認される。

議事録作成人 事務局長予定者 斉藤昌一

長野県木青連 平成24年度 第3回理事会 議事録

日時／平成24年9月21日(金)

場所／松筑会館

出席者14名(理事9名)

◎会長	島田 直政
直前会長	小林 稔政
監事	印出 晃
◎副会長	田中 俊章
◎副会長	宮澤 仁平
◎北信木青連 会団長	深沢 猛
◎東信木青連 会団長	新井 藤弘
◎松本材青会 副会団長	寺西 勝
◎事務局長／東信木青連副会団長	斉藤 昌一
事務局次長	白石 直仁
事務局主事	松本 寿弘
木工工作委員会副委員長	瀧沢 良夫
共立プランニング	日野原和仁
司会進行	田中 俊章
議長	

(◎は理事を示す)

議事録作成指名 斉藤昌一

定足数確認 理事10名中 出席8名 成立致します。

【1号議案】平成24年度第3回理事会議事録(案)承認の件

島田会長:上程
4～5分内容の確認

全員の挙手をもって承認される。

【2号議案】住まいと省エネフェア2012収支決算の件

宮澤副会長:収支決算について説明される。
新井会団長:500円でのメリット(やってよかったのか)感想をお願いします。
宮澤副会長:クレームが来る怖さがあったがお金を支払うことでお客の真剣さがあった。

松本主事:クレームが来る怖さは、逆にこちらも材料の質の要求もあるのかな～お客も真剣に取り組んで大事に持って帰ってもらえたのでは無いか。

宮澤副会長:時間割制も会団の方達に負担がかからなかったのでよかったのでは無いか、もっと自分たちの会団アピールをしてもよいのではないかと。
新井会団長:今回お金を取るのは今までにない新しい考えで今回が良好に終わったのは良いことであったのではないかと。

全員の挙手にて承認される。

【3号議案】信州環境フェア2012収支決算承認の件

宮澤副会長:議案について説明される。
新井会団長:まゆ玉はやらなかったのですかと？
宮澤副会長:NPOの活動自体が移動があり、人員が不足してしまいやめになりました。

松本主事:イベントの参加はできないとの返事があり、まゆ玉とさよりはとり止めになりました。
環境フェアではお金を取ることをやめてほしいとおねがいされました。
深沢会団長:大変盛況で段取りもよく混乱もなく終わりよかったです、片付けも素早く終わり良かったです。
寺西副会団長:無理がなくらくでした。松本でも同じように開催をしましたのが好評だったと思います。

全員の挙手にて採決多数により承認される。

【4号議案】第4回定例理事会開催日(案)承認の件

島田会長:議案について説明される。

スケジュールについて中部森林管理局と連絡を合わせて行います。北信越協議会も開催予定ですのでお願いします。
新井会団長:開催場所が上小木協となっていますが、懇親会があるのですかと？
島田会長:日にちのみの決定にして、場所・スケジュールについてはおって変更連絡します。

日にちのみの採決を全員の挙手にて承認される。

議事録作成人 事務局長予定者 斉藤昌一

資料確認字句訂正

趣意書が古いデータなので確認

4号議案の時間訂正 正副事務局会議11:00～12:00
理事会16:00～18:00に訂正

議事録作成指名 斉藤昌一

定足数確認 理事10名中 出席9名 成立致します。

【1号議案】平成24年度第2回理事会議事録(案)承認の件

島田会長:上程
4～5分内容の確認

全員の挙手をもって承認される。

【2号議案】平成24年度第35回長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会開催(案)承認の件

宮澤副会長:審査会の日程が9月21日に決定しました。

スケジュール、趣意書の確認等を説明される。

日野原さん:補足として趣意書の中に持ち込み先リストを載せています。先生がリストを無くしてしまう事を無くすためです。あと子供向けに分かりやすく又、連絡先材料の調達先も載せてあります。松本主事:9月7日締切です、対応お願いします。9月14日各審査の終了をお願いします。学校審査が入っていますので各学校でクレームがないよう作品を持ってきて下さい。21日審査の人は忘れなないようにして下さい。

白石事務局:趣意書と子供向けの資料のほかに資料はありますか？

日野原さん:全部で趣意書、子供向け資料、出品名簿の3種類あります。

島田会長:趣意書の中に後援の欄は意味があるのですかと？

松本主事:向こうからは無いが、こちらからお願いはしています、あまり取り上げていない現状があります。

日野原さん:その時のニュース判断として枠があるかどうかは向

長野県木青連 平成24年度 第4回理事会 議事録

日時／平成24年12月1日(土)

場所／ささや

出席者15名(理事9名)

◎会長	島田 直政
直前会長	小林 稔政
監事	印出 晃
◎会長代行副会長	中澤 勝成
◎副会長	田中 俊章
◎副会長	宮澤 仁平
◎北信木青連 会団長	深沢 猛
◎東信木青連 会団長	新井 藤弘
◎松本材青会 会団長	池田 剛
◎松本材青会 副会団長	寺西 勝
◎事務局長／東信木青連副会団長	齊藤 昌一
事務局次長	白石 直仁
事務局主事	松本 寿弘
木工工作委員会副委員長	瀧沢 良夫
共立プランニング	日野原和仁
司会進行	田中 俊章
議長	中澤 勝成

(◎は理事を示す)

議事録作成指名 齊藤昌一

定足数確認 理事10名中 出席9名 成立致します。

資料確認字句訂正

次第 協議事項(1)(2)は役員選考委員会での協議ですので削除します。

第2号議案平成25年とあるのを平成24年に変更します。

【1号議案】平成24年度第3回理事会議事録(案)承認の件

島田会長：上程
4～5分内容の確認

全員の挙手をもって承認される。

【2号議案】PRカレンダー収支決算承認の件

中澤副会長：収支決算について説明される。

昨年よりも部数が増えました、来年も増やすのであれば新規会社を増やすよりも各会社の部数を増やしたほうが効率がいいのではないかと？

新井会団長：収支の予算が140万は決算の額が多いのはいいのか？

中澤副会長：数字は見込の金額です。

深沢会団長：全体として去年と(金額が)変わらなかったのですが、部数を増やすのは難しいです、倉沢さんに協力してもらいご注文をいただきました。

中澤副会長：高水で白石さんに増やしていただき助かりました、各会社で増やしていただければよいのではないかと？

新井会団長：島田会長にも買ってもらっています。上小ももっと増やしていただきたい。唐松会も例年どおり買ってもらいました。

池田会団長：例年の人にもお願ひし、新規もあり実績があってよかったと思います。やめたところに戻してもらうのは難しいので現在のところの部数を増やすのが良いのではないかと。

全員の挙手にて承認される。

【3号議案】第5回理事会定例理事会開催(案)承認の件

島田会長：議案について説明される。

最後のセミナーとなりますので中部森林管理局長にお願いしたいと思います。

なお懇親会もありますので、多数の参加をよろしくお願ひします。

全員の挙手にて承認される。

議事録作成人 事務局長予定者 齊藤昌一

長野県木青連 平成24年度 第5回理事会 議事録

日時／平成24年2月16日(土)

場所／ささや

出席者14名(理事8名)

◎会長	島田 直政
直前会長	小林 稔政
監事	山崎 泰雄
◎会長代行副会長	中澤 勝成
◎副会長	田中 俊章
◎副会長	宮澤 仁平
◎北信木青連 会団長	深沢 猛
◎松本材青会 会団長	池田 剛
◎松本材青会 副会団長	寺西 勝
事務局次長	田中 雄介
事務局次長	白石 直仁
事務局主事	松本 寿弘
木工工作委員会副委員長	瀧沢 良夫
共立プランニング	日野原和仁
司会進行	田中 俊章
議長	中澤 勝成

(◎は理事を示す)

議長指名 島田会長より中澤代行副会長を指名

議事録作成指名 白石 直仁

定足数確認

理事11名中、出席7名 委任状3名 欠席1名 成立致します。

【1号議案】第4回理事会議事録承認の件

島田会長：上程
質問者 無し

挙手による承認確認 賛成多数 承認

【2号議案】平成25年度役員・出向者承認の件

島田会長：上程
質問者 無し

挙手による承認確認 賛成多数 承認

【3号議案】第35回木工工作コンクール決算承認の件

宮澤副会長より：説明報告される。

- ポスター配布中止の説明報告
 - コンクールの報告 大きなトラブルなく進行された。
 - 表彰式について 第2回理事会から活動を開始した方がよかった。
- 宮澤副会長より：コンクールを振り返り応募者が去年の3600名から今年に約4000名の応募があった。広告を出した結果が応募者数増の結果に繋がったのではないかと。
応募者数増により、去年より費用は嵩んだが我々のPRにもなり、結果、かなり良かったのではないかと。

質問・意見

島田会長より：優秀賞の選定はどうやっておこなっていますか？

松本主事より：現在「選定者が付箋を付けた作品すべて」であり、書状1枚当たり5000円位費用が掛っています。

宮澤副会長より：木青連で賞状の代筆を頼んだらどうか？

田中事務局長代行より：配布時期を学校の2学期末まで位に早めてほしい。

島田会長より：次年度では作品を多く仕分ける方法を模索して下さい。

挙手による承認確認 賛成多数 承認

【4号議案】PRカレンダー収支決算承認の件

島田会長、中澤代行副会長より：それぞれ上程
質問者 無し

挙手による承認確認 賛成多数 承認

閉会

議事録作成代行 白石

先程の議事録では理事7名でしたが、録音を聴いていると途中で一人来られていたので8人です。